

病虫害発生予察 5月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

5月の気象表(長野地方気象台発表)

官 署		平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	17.4	17.8	18.0	1.0	30.5	22.0	73.8	68.2	79.5
	平年	15.1	15.5	17.1	23.2	31.5	20.4	69.9	60.8	76.6
松 本	本年	17.8	18.1	17.8	6.5	38.0	14.0	68.8	76.2	74.5
	平年	15.2	15.6	17.0	27.5	39.0	33.5	69.5	62.7	76.5
諏 訪	本年	15.8	16.9	17.1	39.0	46.5	14.0	68.0	78.6	71.3
	平年	14.1	14.7	16.2	34.5	44.1	35.3	66.6	62.6	76.1
軽井沢	本年	12.8	13.2	13.1	22.5	63.0	25.5	71.5	58.1	57.0
	平年	11.0	11.5	12.9	29.6	43.8	37.3	64.2	57.8	71.3
飯 田	本年	16.8	18.0	18.3	50.0	81.0	6.5	64.7	75.7	74.3
	平年	15.5	16.1	17.5	50.1	62.5	45.9	62.3	58.5	73.5

月の前半は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わったが、後半はオホーツク海高気圧が発生し、冷たく湿った気流の影響を受けた時期があった。また、低気圧や前線、気圧の谷の影響で大雨となった日もあったが、月の前半を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、日照時間は多くなった。

気温は寒気やオホーツク海高気圧の影響により低くなった日もあったが、南からの暖かい空気に覆われやすかったため、かなり高くなった。

1 表

(1) 生育概況

出穂期は大麦(ファイバースノウ)で平年に比べて1日遅く、小麦(シラネコムギ)で平年並であった。6月上旬現在、大麦、小麦ともにほぼ平年並である。

(2) 病虫害の発生状況

1) 麦類赤かび病

6月上旬現在で、巡回調査ほ場では、赤かび病の発生は認められなかった。

2) さび病

南信地域、中信地域で、平年に比べて発生が多かった。

3) うどんこ病

南信地域、中信地域で巡回調査ほ場全てで発生が確認され、発生時期は平

年に比べてやや早く、平均発病度、平均病斑面積歩合が平年に比べて高かった。

4) コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病(ムギ類萎縮病)

発生面積は昨年と同程度であったが、一部の地域で、発生程度が甚発生〜多発生のほ場が昨年よりも多かった。

2 水 稲

(1) 病虫害の発生状況

1) 育苗期の細菌性病害

発生は平年に比べてやや少なかった。

2) 苗立枯病

一部ほ場で平年に比べて発生がやや多かったが、全般に平年並の発生であった。

3) ばか苗病

育苗期は一部の苗床で発生が目立ったが、全般に平年並の発生であった。

4) ニカメイチュウ

小布施町におけるフェロモントラップへの誘殺は、6月2半旬まで確認されていない。近年、県内ではニカメイチュウの発生は少ない傾向で推移している。

第1表 ニカメイチュウ越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺消長(小布施町)

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6	6・1	6・2
平成1年~30年の平均	0.5	0.4	2.6	8.2	21.7	36.6	77.2	119.8
平 年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
本 年	0	0	0	0	0	0	0	0

*平年：2010~2019年(過去10年)の平均

5) イネミズゾウムシ

アメダス気温データから算出した越冬地からの半数脱出推定時期は、平年に比べて上田、諏訪、松本、長野で平年並、飯田で2日遅く、木曽福島で1日早かった。6月上旬の越冬成虫発生量は平年に比べて多く、被害度の高いほ場がみられた。

第2表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

	上田	諏訪	飯田	木曽福島	松本	長野
平 年	5/11	5/22	5/10	5/21	5/11	5/12
本 年	5/11	5/22	5/12	5/20	5/11	5/12
平年差	0日	0日	2日	-1日	0日	0日

*平年は2009~2018年(過去10年)の平均

3 りんご

(1) 生育概況

6月1日の果実肥大は、平年と比べて小さい傾向である。

第1表 りんごの果実肥大状況（須坂市：果樹試験場） 単位：径（mm）、比（%）

調査日	つがる						ふじ									
	縦径		横径		縦径		横径		縦径		横径					
	本年	比	前年	本年	比	前年	本年	比	前年	本年	比	前年				
6/1	26.9	97	27.7	26.2	29.5	105	28.0	25.9	25.3	94	26.9	27.4	25.0	96	26.0	25.4

平年は2005～2019年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

1) うどんこ病

一部の巡回調査ほ場で発生がみられたが、発生量は平年より少なかった。

2) 斑点落葉病

巡回調査では発生はみられなかった。

3) 黒星病

北信地区の一部調査ほ場で発病葉がみられた。

果樹試験場の、子のう胞子の捕捉数調査では4月下旬から5月上旬がピークであった。

第2表 黒星病子のう胞子の捕捉数（須坂市：果樹試験場）

	4月（日）						5月（日）					
	1～6	6～10	10～15	15～20	20～24	24～30	4/30～7	7～11	11～15	15～20	20～25	25～29
前年	0	0	5	0	158	10814	2985	701	911	0	953	377
本年	0	0	2	11	0	5	125	34	0	37	3	13

注1) 数値は吸引式胞子採集器による18×18mm当たりの捕捉数

注2) 捕捉に用いるスライドガラスは5日を基準日とした日中に交換するため、捕捉期間は前後にまたがっている。

注3) 供試する落葉の被害程度が異なるため、捕捉数は前年の値と単純に比較できない。

4) 赤星病

6月上旬の巡回調査では、東信地区で散見された。

5) 腐らん病

胴腐らん、枝腐らんの発生がみられた。

6) ハダニ類

ナミハダニの寄生が一部でみられた。

7) キンモンホソガ

フェロモントラップで多く誘殺された地域もあったが、果樹試験場（県発生予察ほ）の誘殺は平年並であった。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（須坂市：果樹試験場）

月・半旬	5・1	2	3	4	5	6
平年	5.0	0.4	0.7	0.4	1.3	9.8
本年	8	5	0	0	0	8

平年は2010～2019年の平均値

8) ハマキムシ類

巡回調査では寄生はみられなかった。

9) ナシヒメシンクイ

巡回調査では寄生はみられなかった。

10) アブラムシ類

ユキヤナギアブラムシ、ムギクビレアブラムシの寄生がみられた。

4 なし

(1) 生育概況

6月1日までの果実肥大は、平年と比べ大きい傾向である。

第1表 なしの果実肥大状況（高森町：南信農業試験場） 単位：mm

品 種	区分	5月15日		6月1日		6月15日		7月1日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	15.6	17.1	25.7	25.5	32.2	30.7	38.3	35.5
	前年	12.0	12.1	23.9	22.5	29.6	27.6	36.1	32.8
	本年	15.5	14.8	28.4	26.0	35.4	31.6		
幸 水	平年	14.5	14.0	25.1	22.1	32.5	27.8	40.6	33.8
	前年	12.4	10.9	26.2	22.6	33.7	28.4	42.9	35.2
	本年	12.8	11.4	26.7	22.9	35.5	30.0		
豊 水	平年	17.3	18.2	26.8	25.8	33.3	31.3	40.3	37.1
	前年	12.2	11.4	24.2	21.4	30.2	27.1	37.8	33.4
	本年	17.1	15.6	30.5	27.4	38.0	33.5		

平年は1990～2010年の平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）

(2) 病害虫の発生状況

1) 黒斑病

巡回調査ほでは発生がみられなかった。

第2表 越冬病斑上の胞子形成度（高森町：南信農業試験場）

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	16.4	11.1	21.6	21.0	31.3	27.3	27.8	24.0	44.1	33.5	36.7	44.7
前年	-	6.7	25.0	11.7	61.7	13.3	33.3	6.7	58.3	51.7	33.3	31.7
本年	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	8.3	23.3	10.0	38.3	56.7

値100の場合は1個の病斑に100個以上胞子を形成している状態
 平年は過去10年平均値

第3表 アルタナリア属菌の胞子捕捉数（高森町：南信農業試験場）

半旬	5月						6月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	1.1	0.9	0.8	1.4	1.9	2.2	2.8	3.0	6.9	8.2	6.4	11.3
前年	1	1	0	2	1	11	10	5	16	25	16	22
本年	0	2	11	17	10	13	34	27	23			

18mm×18mm当たりの胞子数（個） 平年は過去10年の平均値

第4表 ナシ黒斑病、果実の発病（南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布）

	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.1	0.2	0.8	2.5	12.4
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
本年	0.0	0.0	0.0	0.0	20.1	

平年は過去10年平均値

第5表 ナシ黒斑病、新梢葉の発病（南信農業試験場「二十世紀」殺菌剤無散布樹）

	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.1	1.0	3.5	7.2	15.8
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
本年	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1	

平年は過去10年平均値

2) 黒星病

県予察ほ、巡回調査ほ場の一部で発生がみられた。

第6表 ナシ黒星病菌子の胞子飛散消長（高森町：南信農業試験場）

半旬	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	11	200	769	1849	6015	3221	4361	4748	2554	653	320	194
前年	0	0	0	0	226	3560	2067	4147	3480	147	271	0
本年	2	0	115	100	71	119	171	121	144	288	0	816

平年は過去10年平均値

第7表 ナシ黒星病、果実の発病（高森町：南信農業試験場）

	4月		5月		6月		
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	-	12.6	30.6	39.8	45.3	49.5	58.4
前年	-	0.0	2.4	4.3	10.9	12.9	20.6
本年	-	0.0	9.5	4.5	21.6	39.1	

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

第8表 ナシ黒星病、果そう葉の発病（高森町：南信農業試験場）

	4月		5月		6月		
	25日	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	1.4	5.5	23.3	42.6	56.6	66.7
前年	0.0	0.0	0.7	2.7	14.8	29.5	47.0
本年	0.0	0.0	0.9	3.1	23.2	62.9	

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査 平年は過去10年平均値

3) 赤星病

巡回調査ほでは発生はみられなかった。

4) ハダニ類

巡回調査の一部でナミハダニの寄生がみられた。

5) リンゴコカクモンハマキ

巡回調査ほでは発生はみられなかった。

南信農業試験場において6月第2半旬まで誘殺は認められていない。

第9表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長（高森町：南信農業試験場）

月・半旬	5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
平年	0	0	0.1	0.2	1.1	0.9	1.8	1.4
前年	0	0	0	0	0	0	0.5	1
本年	0	0	0	0	0	0	0	0

6) ナシヒメシンクイ

南信農業試験場での越冬世代成虫の発生盛期は5月上中旬であった。巡回調査では、芯折れは認められなかった。

第10表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長(高森町：南信農業試験場)

月・半月	4・4	5	6	5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
平年	3.2	6	5.1	6.2	3.3	1.3	1.5	0.6	0.3	0.4	0.6
前年	3	4	2	2.5	0.5	0.5	0	0	0	0.5	0
本年	0.5	2	0.5	3.5	1.5	3.5	3	2	0	0	0

平年は過去10年平均値

7) カメムシ類

巡回調査では発生はみられなかった。

南信農業試験場内でのフェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数が多かった。

第11表 カメムシ類の誘殺状況(高森町：南信農業試験場)

月・半月		5・1	2	3	4	5	6	6・1	2
クサギ	平年	0.1	0.1	0	0	0	0	0.2	0.1
	前年	0	0	0	0	0	0	0	0
	本年	0	0	0	0	0	0	0	0
チャバネ	平年	0	0.5	0	0.7	0.9	0.7	1.4	1.4
	前年	0	0	0	0	1	0	0	1
	本年	1	0	2	5	4	0	13	16

5 もも

(1) 生育概況

6月8日までの果実肥大は、あかつき、川中島白桃とも平年より大きい傾向である。

第1表 ももの生育状況(須坂市：果樹試験場)

品種	月日	縦径(mm)			横径(mm)			側径(mm)			指数		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
あかつき	6/1	38.7	36.2	35.0	33.9	30.3	30.2	28.6	25.7	25.9	12.2	10.2	10.1
	6/8	44.9	44.2	41.5	42.4	40.1	37.9	37.5	34.7	33.7	18.0	16.6	15.1
川中島白桃	6/1	36.9	31.9	32.7	32.4	27.3	28.1	27.0	22.4	23.7	11.0	8.0	8.8
	6/8	43.7	39.5	40.0	40.8	36.3	36.8	34.5	30.7	31.5	16.5	13.3	13.9

平年値：あかつき(2011年～2019年の平均) 川中島白桃(2000年～2019年の平均)

指数=縦径×(横径+側径)÷2÷100

(2) 病害虫の発生状況

1) せん孔細菌病

発病葉が多くみられる地域があり、全体的に平年より多い発生であった。

2) 縮葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

3) ハダニ類

巡回調査では、寄生がみられなかった。

4) モモハモグリガ

巡回調査では、被害がみられなかった。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長(須坂市：果樹試験場)

月・半月	5・1	2	3	4	5	6
平年	26.4	5.3	3.9	2.3	3.5	12.1
前年	0	0	0	0	2	3
本年	1	0	0	1	4	4

平年値は2010～2019年の平均

5) アブラムシ類

平年並の発生であると推測された。

6) カメムシ類

巡回調査では被害果実はみられなかったが、フェロモントラップ調査では、チャバネアオカメムシの誘殺数が多かった。

第3表 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長(須坂市井上)

月・半月	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
平年	1.3	0	0.5	0.5	2.4	1.2
本年	2	1	2	5	0	2

平年：2015年～2019年

6 ぶどう

(1) 生育概況

満開期は、平年より1日早かった。

第1表 ぶどうの生育状況(須坂市：果樹試験場)

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨峰	平年	4/25	4/30	6/8	6/11	6/14
	前年	4/25	5/4	6/7	6/10	6/12
	本年	4/30	5/4	6/6	6/9	

平年値は1981年～2010年の平均

(2) 病害虫の発生状況

1) 灰色かび病

巡回調査では、発生はみられなかった。

2) ベと病

巡回調査では、発生はみられなかった。

7 野菜・花き

(1) 生育概況

5月の気温は、上旬に平年に比べ低いところがあったものの、中旬以降は平年に比べて高くなったところが多かった。このため、作物の生育は平年並であった。

(2) 病害虫の発生状況

1) トマトの病害

巡回調査では、中信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場で葉かび病の発生がみられた。

2) きゅうりの病害

巡回調査では、南信、中信及び北信地域の一部施設（半促成）栽培ほ場でうどんこ病の発生がみられた。

3) キャベツ、ブロッコリー、はくさいの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

4) レタスの病害

巡回調査では、中信地域の一部ほ場ですそ枯病の発生がみられた。

5) タマネギの病害

巡回調査では、中信地域の一部ほ場でべと病の発生がみられた。

6) アザミウマ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、中信地域の施設（半促成）栽培のきゅうり、南信地域のねぎ及びアスパラガスの一部ほ場において寄生がみられた。また、中信地域の施設（半促成）栽培のトマトで、アザミウマ類は確認されなかったが、白ぶくれ果がみられた。

第1表 青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	0	0	1	3	1	4
富士見町（地区発生予察ほ）	2	5	4	-	13	7
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	2	0	0	3	3	3
長野市（地区発生予察ほ）	2	0	0	0	0	0

7) アブラムシ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、中信地域の露地栽培（ジュース用）トマト、南信及び北信地区の施設（半促成）栽培きゅうり、中信地域のすいか、南信地域のアスパラガス及びきく栽培ほ場で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺消長調査では、塩尻市洗馬及び富士見町の地区発生予察ほで5月第5半旬に急増した（第2表）。

第2表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	1	0	1	1	12
小諸市山浦（県発生予察ほ）	2	9	4	2	4	4
上田市菅平高原（地区発生予察ほ）	0	0	1	1	4	4
富士見町（地区発生予察ほ）	3	12	8	-	38	37
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	0	2	1	11	40	20
長野市（地区発生予察ほ）	1	2	1	0	12	6

8) ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域の一部施設（半促成）栽培のトマト及びねぎの一部ほ場で寄生がみられた。

9) ヨナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、被害は確認されなかった。

フェロモントラップによる調査では、全般に誘殺数は平年並であったが、長野市の地区発生予察ほでは5月以降、第5半旬にかけて誘殺数が急増した（第3表）。

第3表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	3	7	7	11	13	10
小諸市山浦（県発生予察ほ）	2	4	6	6	27	10
東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）	12	3	15	16	14	21
長野市（地区発生予察ほ）	-	17	27	41	103	68
上田市（地区発生予察ほ）	1	0	0	2	3	0
諏訪郡原村（防除適期決定ほ）	6	2	3	14	16	7

10) オオタバコガ

巡回調査では、被害は確認されなかった。

フェロモントラップによる調査では、全般に誘殺数は平年並であったが、豊丘村の防除適期決定ほで5月第4半旬に誘殺数が急増した（第4表）。

第4表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	0	0	0	0	0
小諸市山浦（県発生予察ほ）	0	1	0	1	1	0
須坂市（農業試験場）	0	0	0	1	0	0
豊丘村（防除適期決定ほ）	4	4	3	15	7	16

11) ヨトウガ類

ヨトウガ

フェロモントラップによる調査では、全般に誘殺数は平年並であったが、野菜花き試験場内（塩尻市）で5月第4半旬に、農業試験場（須坂市）では5月第2半旬に誘殺数が急増した（第5表）。

ハスモンヨトウ

フェロモントラップによる調査では、全般に誘殺数は平年並であったが、上田市の地区発生予察ほで、5月第4半旬に誘殺数が平年に比べやや多かった（第6表）。

シロイチモジヨトウ

フェロモントラップによる誘殺調査では野菜花き試験場内（塩尻市）では、誘殺数は平年並であったが、長野市の地区発生予察ほでは、誘殺がみられなかった（第7表）。

第5表 フェロモントラップによるヨトウガ誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	2	5	13	10	11
須坂市（農業試験場）	8	17	9	9	10	11

第6表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	0	0	0	0	0
須坂市（農業試験場）	0	0	0	0	0	0
上田市（地区発生予察ほ）	0	1	0	5	0	0

第7表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ誘殺消長

月・半旬	5・1	5・2	5・3	5・4	5・5	5・6
塩尻市宗賀（県発生予察ほ）	0	0	1	0	1	0
長野市（地区発生予察ほ）	0	0	0	0	0	0

12) ハダニ類

巡回調査では、北信地域の施設（半促成）栽培きゅうりほ場で寄生がみられた。